

千代田界隈のレトロな風景



ぼけの実

この実はどうするのでしょうか？

ぼけ酒やぼけジュースにするとおいしいですよ。

(千代田6丁目にて)

みどりの風



2016.10.1

-NO.217-

人・ひと日記

小林 功

ブラジルではオリンピックに引き続きパラリンピックが開催されました。オリンピックの観戦疲れもあり最初はテレビに向かうことも無かったのですが陸上競技あたりから競技のレベルの高さと迫力に注目するようになりました。自らの障害(ハンディ)に義足や車椅子の力を得てまさに全身で表現するアスリートの姿に魅了されました。近い将来、東京大会あたりでオリンピックの競技にパラリンピックの選手が登場するようなことがあってもよいのではないのでしょうか。ボッチャというボールゲームが面白そう。お年寄りも楽しめそうでこれからデイサービスあたりで流行るかも知れません。

合唱の歌集に「しゃぼんだま」の曲があり、歌い終わったところで質問。「昔しゃぼんだまはどうやってつくりましたか？」ほぼ全員の答えは「石鹸」。液体洗剤などない時代で石鹸をお湯や水で溶いて作りました。化粧石鹸をしましたが洗濯石鹸でも可でした。次の質問「それをどうやって飛ばしましたか？」ほぼ全員が「ストローで吹いた」でした。私の答えは「麦わら」でした。化学製品はセルロイドぐらいしか無かった時代にプラスチックのストローは存在しなかったはず。しかし皆さんの答えは「様にプラスチックのストローなのです。麦わらの説明にも「??????」でした。私の昔と皆さんの昔にずれがあるのかもしれませんが、お互いに「記憶は確かですか？」といったところでしょうか？

①「北里大学病院で「大学病院の緩和ケアを考えるシンポジウム」が開催されました。がんをはじめ痛みや呼吸に苦しむ患者への緩和ケアの選択についての理解が病院内でも進んでいないといった問題提起もありました。私もシンポジストとして参加し、「在宅介護の立場から」ということで、「在宅の場での医師の存在の大きさ」「介護者(家族)へのホームヘルパーの働きかけの大切さ」「人の最期はその人の生き方の集約」等について発表させていただきました。この仕事に就いて自身が体験し、考えたことを思い出してみた事柄です。緊張はしましたが貴重な体験でした。

発行 社会福祉法人 悠朋会

相模原市中央区千代田2-4-1

千代田デイサービスセンター

042-751-0672

ヘルパーステーション千代田

042-704-0261

千代田介護支援センター

042-704-0281

千代田相談支援センター

042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

千代田デイサービス 夏祭り



千代田デイサービスの夏祭りは、お神輿の入場に始まり、魚釣りゲームや射的ゲームで楽しみました。理事長自ら作るポップコーンやかき氷を召し上がって頂いた後は、景品がもらえる大ビンゴ大会を行い、最後の締めには盆踊りをみんなで踊って夏祭りを締めくくりました。

敬老祝賀会



9月18日に敬老祝賀会を執り行いました。祝賀会では長寿のお祝いとして紅白饅頭を贈呈し、今年節目を迎える方々には賞状を授与させて頂きました。利用者さんを代表して今年白寿になられる原さんよりお礼のお言葉を頂戴しました。梅ふじ会の皆さんの津軽民謡を聴き、練り切りと抹茶で長寿をお祝いしました。

10月の予定

千代リンピック	1日(土) ~ 5日(水)
体重測定	3日(月) ~ 9日(日)
クラフト・紙粘土	7日(金)
キーボード	16日(日)
書道	17日(月)、20日(木)
交流会	18日(火)、19日(水)
寿司ビュッフェ	19日(水)
折り紙	20日(木)
踊り	21日(金)
誕生会	25日(火) ~ 31日(月)
シナプソロジー	31日(月)



熊本災害派遣福祉チームでの活動報告(8月)

ヘルパーステーション千代田 大芦巧

2週間の復興支援でしたが中身が濃く内容の良い支援でした。私が行った支援は避難所に居る方に声掛けを行い「今必要な事は何か?」「今後どのようにしていくのか?」等のお話を聞き、悩み相談を行いながら色々な事の情報収集していく活動でした。今までヘルパーの仕事しかしてこなかった自分にできるのか?と不安に思いましたが現地の方や被災された方々の支えがあり支援を行う事ができました。

仮設住宅に住むことができて皆さん色々な地区から集まってきており、お隣に住んでる方が誰か分からない、外に出ても知ってる人がいないから家の中にいた方が良いといったお話しが多数でした。

仮設住宅には集会所(みんなの家)がありそこを3時間程お借りし、茶話会を企画して開催しました。最初は全く人が集まらず1件1件お声掛けし、次第に集まるようになりました。一緒に昼食を食べながら会話が弾み、皆さん顔見知りが増えていきました。「あんたここにいたの?」と嬉しそうに会話されている光景を見ていると「良かった」と改めて思いました。

私達がいた時は避難所に沢山の被災された方がおり、お話を伺うとまだ仮設が決まらないといった方が沢山いらっしゃいましたが、後半になると避難所の閉鎖が8月中旬と決まり、ほとんどの方が居なくながらりとしていました。

まだまだ復興支援は必要とされています。なるべく多くの方が昔の生活に戻れるように今後の支援が必要と思い「2週間だけでは足りない。もっと色々できたのではないかな?」

と帰ってきてから後悔し続けています。また機会があれば是非支援に行きたいと思っています。

最後に・・・熊本弁は本当に分かりませんでした。難しかったです。



ヘルパーステーション千代田

菊地 歳光

8月17日(水)～8月24日(水)という2週間にわたる長期間の中で、熊本被災地支援活動に参加できる貴重な機会を設けていただきました。その中で様々な想いを巡らし、また福祉とは、と自問することも出来ました。

今回私は、日頃利用者様と接する中で自立を促しているものの、被災された方々との触れ合いの中でどのような関わり方が出来るか、との思いで支援活動に臨みました。避難所から仮設住宅に移った方々には、様々な境遇があります。中には気持ちが落ち込んで涙を流す日々が続いたこともあったが、それではいけない、気持ちを切り換えた。とお話しされる80歳代の女性もお見えになりました。本当に強い気持ちを持っており、今思い出しても目頭が熱くなります。



仮設にお住いのほとんどの方は「おたくたちも暑くて大変ね、どこから来たの?」「そんな遠方から来てくれてご苦労様」等の沢山の労いの言葉をいただきました。皆さん、毎日過ごすのがやっとの状態でよその者への優しい対応、その気持ちの持ちようは熊本の宝、日本人の宝だと感じました。

私自身、思いっきり支援に関わることが出来て満足感で熊本を後にすることが出来ました。沢山の宝物に触れることが出来て幸せな気持ちでもありました。今回のことを糧に、今後も地域支援、社会福祉の輪をつくっていきたくと思っています。

第九回千代田ふれあいコンサート

「川口兄弟ピアノ／コンサート」

クラシック界注目のピアノデュオ
が千代田ふれあいコンサートへ！
独自のアレンジによる名曲の美し
さと超絶技巧の迫力をお楽しみ下
さい。



プログラム：・川口兄弟超絶技巧名曲集より・ピアノ連弾セレクション「スイーツタイム」より
・葉加瀬太郎の情熱大陸・ショパンのノクターン・リストのカンパネラ・ガーシュイ
ンのキューバ革命・一足早いクリスマスメドレー 他

日時： 11月23日（水・祝） 14時開場 14時30分開演

場所： メイプルホール（千代田デイトスク前メイプルビル地下）

入場無料

予約が必要です。042-704-0261 ヘルパーステーション千代田へお申し込み下さい。

会場では震災被災地、児童養護施設への義援金を募ります。ご協力をお願いします。

児童クラブいちばん星 夏休み編

指導員 加藤和代

・夢中になれるものを探せるところ

・福祉体験を通して人と人の関係の大切さを学ぶところ

を理念のひとつとし、いろいろな事に挑戦した夏休み。今回はその報告です。

アква農園での収穫体験

きゅうりやトマト、オクラに
茄子など無農薬のお野菜
を収穫しました。野菜本来
の味にびっくりです。



視覚障害者の渡邊さんにお話
しを聞きました。点字で書かれ
た本を読み、学力をつけてい
った渡邊さんに刺激をうけた
子供達でした。



マジックショー＆教室

クラブを舞台にミスターTKこと高
橋和也さんをお迎えし、素敵なショ
ーを披露していただきました。



その他にも映画鑑賞に出かけたり田名にあ
るふれあい水族館に行ったり・・・
これからも日々充実したクラブ生活ができ
るよう私達指導員もがんばっていきます！

